

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和07年01月14日

計画の名称	【重点】尾道市水道施設（基幹施設〔ポンプ場・配水池〕）耐震化事業（防災・安全）														
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	尾道市														
計画の目標	耐震性能を有する配水池を整備し、災害等緊急時における給水拠点を確保する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,835	A	1,835	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6年度末	R9年度末	R11年度末
1	基幹水道施設（配水池）の耐震化率（％）を令和11年度末まで89.3％を維持する。			
	基幹水道施設（配水池）の耐震化率（％）	89%	89%	89%
	耐震化済基幹配水池総容量（m3）／基幹配水池総容量（m3）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中核都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
計画名：尾道市国土強靱化地域計画 要素事業番号：A07-001最終目標値の耐震化率が変動していない理由は、配水池の完成がR12年度であり、供用開始のR13年度に耐震化率が99％となるため。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	水道	一般	尾道市	直接	尾道市	－	－	水道施設（基幹施設[ポンプ場・配水池]）整備事業	耐震性能を有する配水池関連施設を整備する。	尾道市	■	■	■	■	■	1,835		策定済	
											小計							1,835		
											合計							1,835		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	74				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	74				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	74				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称：【重点】尾道市水道施設（基幹施設〔ポンプ場・配水池〕）耐震化事業（防災・安全）

[illegible]

【重点】尾道市水道施設（基幹施設〔ポンプ場・配水池〕）
耐震化事業（防災・安全）
平面図 S=1/2500
計画年度 R7～R11

整備計画対象箇所

当初計画

実施

既設水道施設

（黒）

（赤）

（水色）

R9～R11
明現ポンプ場
造成・築造・電気機械設備

R9～R11
明現ポンプ場～明現配水池間
送配水管布設

R7～R11
明現配水池
築造・電気機械設備

廃止予定
山波ポンプ場（既設）
200m³
HWL 25.9m
LWL 23.4m
Q=3.625m³/min
H=43.0m

廃止予定
山波配水池（既設）
馬蹄型トンネル式
5.0m×4.5m×153m=3,200m³
HWL 61.5m
LWL 57.0m

↑ 福山方面

JR山陽本線

国道2号

↓ 三原方面